



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.04.27

No.00700

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎 幹 事：横澤啓二 連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 04.27】
 「川上会員卓話」
 職業奉仕委員会

次回のプログラム

【通常例会 05.11】
 「地区協議会報告」
 次年度各委員会

4月の主な行事：雑誌月間

第 699 回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長
 ローターソング：なし
 ゲ ス ト：なし
 ビ ジ タ ー：佐藤孝様(竜ヶ崎 RC)

会長報告：城出鴻二郎



■今週仕事の関係で、東海那珂 RC さんにメイクアップにお邪魔いたしました。木内酒造様の卓話の邪魔をいたしまして、少しお話の時間を頂戴しましたが、色々なク

ラブさんにお邪魔していますが、他のクラブさんと違って、非常にまじめで皆さん紳士で、例会や委員会をなさっていました。この日も例会後次年度との委員会の引継ぎ会議をされていました。真面目にと言うより、会員さんが引き受けている役割をきっちり行なっておられるに過ぎないのですが、びっくり致しました。多くの会員さんは原子力関連企業の代表の皆さんと言うこともあって、処理される内容はそのほど難しくないというような受け取り方になっておられるようで、皆さん年間の奉仕活動も黙々と淡々と対応されているようです。

■この日も東海高校の高校生と校長先生、茶道部の顧問の先生と部長、副部長等 5 人が例会に出席されていて、校外活動でお茶道具一式の贈呈をされました。会員の木内さんのお話も面白く拝聴いたしました。

■今はワインの時代からビールの時代に入っているとか、お酒も良いようですが、木内酒造さんではビールも製造されており、数年前には世界チャンピオンにもなられたとか、つい最近ではイギリスでの選考会のワールドコンクールで審査員としても活躍さ

れました。

■往年のロータリークラブの見本のような例会風景に出会うことが出来まして、新鮮な驚きでした。また機会があればお邪魔したいと思っています。
 ■竜ヶ崎ロータリークラブの佐藤さんがお出でになっています。メイクアップと言うことですが、ドリームツリーの報告書をいただきました。またの機会に報告のご案内をいたしましょう。
 佐藤さんありがとうございました。

幹事報告：横澤啓二

■地区大会の礼状が来ています。



■バンコック国際大会の案内で、来る 5 月のバンコック国際大会には、是非私達の展示ブースにお越し頂き、HOF (友情の家) で私達が共同で取り組んだ人道奉仕活動

の成功事例をご覧になって下さい。

ブース# 323

ブース名 RC Silom & RC Bangkok Pattanakarn
 (シーロム RC 並びにバンコク・パタンカーン RC)
 “浄水器・識字率・人工透析器”

■ 5 月のロータリーレートは 82 円だそうです。

■ 水戸 RC 等会報をいただきました。

委員会報告

■ 4 月 29 日・日曜日、地区協議会が開催されます。

場所：つくば国際会議場 10:00 点鐘

駐車場：大清水公園裏、つくば中央警察署付近

※ロータリー専用駐車場となっています。

参加義務者：次年度会長・幹事・クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・新世代奉仕・国際奉仕・ロータリー財団・米山奨学会の各委員長

本日のプログラム

雑誌月間に因んで



雑誌委員会：横山善英

■皆さんはロータリアンの三大義務をご存じですか。言うまでもなく、

- ①例会出席
- ②会費納入
- ③雑誌購読

であります。購入しただけでは義務を果たしたことにはならず読まなければなりません。そんな訳で今月4月は雑誌月間です。雑誌（ロータリーの友）の内容に触れられることはあっても、なかなか今日に至る経過はお話しが出来なかったもので、パワーポイントの媒体を利用し再考して行きたいと思えます。

この「ロータリーの友」は現在 96,000 部発行されております。日本の会員は 88,938 人（2012.01）です。そんなものなのでしょうか。ピーク時には 14 万部と言われておりますので如何に会員の減少が顕著で深刻であるかここからも察することができます。

1952 年、ここまで日本では 1 地区でありましたが 2 地区に分割されることになりました。分割後もお互いがクラブや会員の活動状況、意見等を知りたいという希望が多く両地区に共通の雑誌を発行することで意見がまとまったのです。

第 1 回の準備会が 1952 年（昭和 27 年）大阪クラブの星野行則 PG と露口四郎氏が幹事役となって、東京・大阪・京都・横浜・神戸の各クラブの代表で協議されました。が、何も決まらなかったようです。

第 2 回の準備会は 1952 年 8 月 16 日岐阜長良川畔の大竹旅館で開催され、岐阜クラブの遠藤健三氏が中心となって次の件が決まりました。

- 1.編集委員は合議制とする。
- 2.東京にて発行する。
- 3.定価は 50 円とするが広告料で 100 円の内容に。
- 4.名称は「ロータリーの友」とする。
- 5.横書きとする。※縦書きとの意見も多かった。
- 6.創刊は 1953 年 1 月号とする。

又、現在のような横組・縦組に分かれたのは 1972 年 1 月号からで、俳壇・歌壇・柳壇などは横組に馴染まないという理由だそうです。陣羽織の前からと後ろからの表紙写真がなかなか洒落ていて特徴的な点も私達自慢の雑誌ではないでしょうか。



この「このロータリーの友」は 1979 年 7 月号からの試験期間を経て 1980 年 7 月号より「ロータリー地

域雑誌」となりました。公式雑誌は「THE ROTARIAN」であって、現在 30 の地域雑誌が刊行されています。よって、地域雑誌には「R1 指定記事」というのがありますので、そこは必ず読むようにしたいものです。尚、クラブや地区での広報や会員勧誘に適した小冊子も準備されております。広報誌として「Rotary 世界と日本」1 セット(10 冊)525 円、会員勧誘用として「Rotary あなたも新しい風に」1 セット(5 冊)420 円が創刊されました。これまでのロータリー友では一般の方には受け入れ難い点が多々ありましたので、今後の事業活動や会員増強に利用されてはいかがでしょうか。

本日出席状況

会 員	20 名	出席率	60.00 %
出 席 者	9 名		
出席免除者	2 名	Make-up	3 名
(定款第9条3節a)	1 名	米島、小林、椎塚会員	

ロータリー豆知識

《ロータリー情報委員会》

(亀尾会員)

この委員会の起源を辿ってみると、Committee on Philosophy and Education 理論及び教育担当委員会が Committee on the Philosophy of Rotary ロータリー理論委員会となり、現在は Rotary information Committee ロータリー情報委員会となった。

委員会の任務は、全員に対してあらゆる知識と理解を深めるよう、適切な考え方を伝えて教育することが必要です。特に新会員がロータリーを正しく理解し、特典と責務を了解するよう援助しなければならぬ。

また、毎年 4 大奉仕毎にプログラムを提供し、更に全会員に情報を絶えず伝達する責任があり、極めて重要で可能な限り最高の適任者を任命するよう強く要請されています。この委員会の活動次第でロータリーが再建するか、このまま変節してしまうかだ。一度原点に戻ってみよう。

ニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 4 件 7,000 円 (本年度累計 384,000 円)

海老原会員：GWが来ます。

川上会員：佐藤様いらっしやいませ。

城出会員：佐藤様、よくお出で下さいました。ドリームツリー有りがとうございました。

横山会員：佐藤さん新世代お疲れ様です。

例会の欠席は、**水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。**